



感染症に気をつけよう!

2020年【11月号】



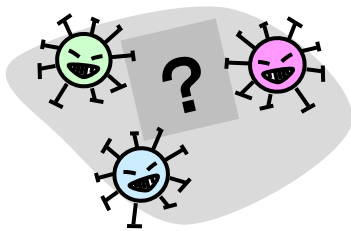
横浜市内の感染症 流行状況

感染症**	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
腸管出血性 大腸菌感染症*	 発生	 横ばい	6月以降、無症状の場合も含め、ほぼ一定数の患者が報告されています。【'19.9号】【ちらし】
新型コロナウイルス 感染症**	 発生	 横ばい	市内でも報告が続いています。 【患者の発生状況】【'20.10号】

参考ホームページ *：厚生労働省 **：国立感染症研究所 横浜市衛生研究所
横浜市感染症情報センター

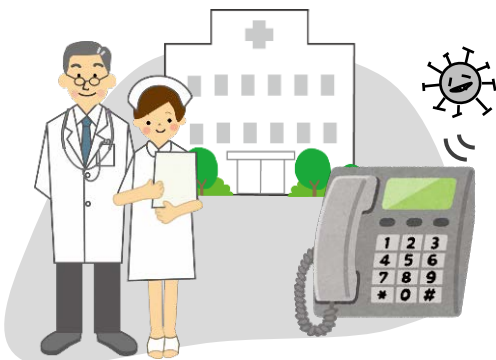


今、気をつけたい感染症 新型コロナウイルス感染症

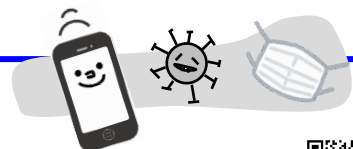


■ 新型コロナウイルス感染症と、例年流行しているインフルエンザや風邪などの感染症とは、**症状だけから判断することは難しい**です。

- 皆さんが受診する医療機関では、このどちらの場合でも診察できるように、**特別な対応が必要**になっています。
- 診察前の準備や、その他の症状で受診する患者さんと来院時間を分けるための調整などです。



- 発熱・咳・のどの痛み・全身倦怠感等の症状がある時は、**受診する前に必ず医療機関へ電話**で連絡してください。
- この冬のインフルエンザ流行期に備えるために、ご協力をお願いします。



厚生労働省
【新型コロナウイルスに関するQ&A】



横浜市保健所
【新型コロナウイルス感染症対策】

